



# タイの占い

## - 人々の願いに寄り添うもうひとつの信仰 -

日本学術振興会特別研究員 RPD

小川 絵美子

### 1. タイの信仰と占い

多くのタイ人は、誕生日と一緒に自身の生まれた曜日を知っている。正確な時間を覚えている人も珍しくない。曜日ごとに定められる吉凶の色(シー・プラチャムワン)を意識して、その日身につける服を選ぶことも一般的だ。これは生まれた日により、性格や適職、運勢が定められているとする占星術に由来する。天体の位置や動きを人や社会と結びつける占いは、世界各地でみられ、その起源は不明であるが、タイで盛んにおこなわれている占星術は、仏教と同様にインドから伝来したのちに独自の発展をしたものだと考えられている。

上座仏教が事実上の国教として信仰されるタイであるが、人々の生活に根付くしきたりや信仰は、仏教のみでは説明できない。老若男女が夢中になる占いも、一見世俗的な事象への執着をたつことを説く仏教と矛盾するかのように見えるが、多くのタイ人はそうは思っていない。それどころか、むしろ仏教の一部だととらえられている場合もあり、密接にかかわっているのである。

たとえば寺院境内で、本尊より小さな仏像が7尊から9尊並んでいるのを目にする機会は多い。これらの仏像はそれぞれ異なる姿勢、印相によって曜日を象徴しており、参拝者が自身の生まれの曜日と対応する仏像を拝み、お賽銭を入れられるようになっている。これらの仏像を自身の守護仏として拝むという行為は、仏教的であると同時に、占星術的でもある。



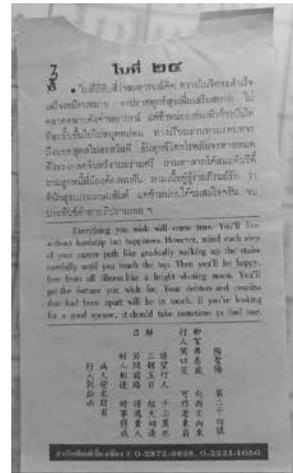
ワット・サマーン・ラッタナーラーム／チャチューンサオ 曜日ごとの仏教「プラ・プラチャムワン」。水曜日を日中と夜に分割して2尊で表現している場合や、どの曜日にも対応する仏像を一尊加えている場合もある。



ワット・マハーブット / バンコク すべての曜日に対応するひとつの仏像に、曜日ごとに決められた色のろうソクを購入し水に浮かべて供えるタイプのもの。ワット・ドーイ・ステーブ / チェンマイ 賽銭箱の他に、参拝者が油をそそぐための灯明が置かれたもの。様々なバリエーションがある。

また、日本の寺社仏閣で見られるようなおみくじも、タイの寺院によく設置されている。「スィアムスィ」と呼ばれ、日本のおみくじと同様中国から渡ったもので、元々は中国廟に多くみられるものだが、いまや上座仏教寺院でもお馴染みだ。よくあるスタイルは、竹製の細い棒の束が入れられた筒で、礼拝

した後、両手で斜めに持ち、前後に揺すって棒を一本落とす。落ちた棒に書かれた数字が自分のクジになり、棚から対応する数字の「みくじ箋」をもらうという形式だ。運試しというよりも、具体的な悩み事があるときや物事を決めたいときに使われる機会も多い。みくじ箋を取らずに数字だけを控え、結婚式の日取りや子どもの名付けの参考にされること、あるいは、購入する富くじの番号が占われることも定石だ。筆者の友人は、学生時代に試験のヤマをかけるために利用していた。



ワット・マハーブット / バンコク コインを入れるとルーレットが回る電気仕掛けの「スィアムスィ」(写真左)「スィアムスィ」のみくじ箋の一例。英語、中国語も添えられている(写真右)

## 2. 仏教と占い

こういった寺院境内にある占いに関係した“仕掛け”は、参拝者の世俗的欲求に応えるためのものだ。タイの上座仏教では、出家者である僧侶は、厳しい戒律を守り俗世間から身を離すことで輪廻解脱を目指す。一方で在家者は、むしろ輪廻転生のなかでより恵まれた境遇に転生することを願い、そのために現世で功德を積む。タイの社会には、占いのほかに、仏教伝来以前からの土着信仰であるアニミズムやシャーマニズム、祖霊信仰等、



ワット・プラタート・シーチョームトーン/チェンマイ 「ヨック・チャーン・シアンターイ」。  
こちらも寺院境内で見られる占いの道具。絶妙な重さの金属製の象を、願い事（もしくは  
質問）をした後に、一本の指に引っ掛けて2回持ち上げて占う。一回目が持ち上がり、二  
回目は上がらなかった場合、その願いは叶う（もしくは質問の答えはイエス）というもの。

多様な信仰が存在する。来世でのより良い生が仏教に求められる一方、現世における救いは非仏教的信仰に求められるという具合に、上座仏教とその他の信仰は、それぞれに別の役割を担っているとみることもできる。しかし、人々は複数の信仰を必ずしも明確に線引きし、使い分けているわけではない。

「タンブン」すなわち積徳につながるとされる行為には、僧侶への布施、他人への親切、親孝行、一時的な出家等、仏教的な価値観に基づくものがまず挙げられるが、精霊の祠、中国廟、インド神話の神像といった、上座仏教寺院以外の対象物への崇拝も含まれると考える人は多い。また逆に、現在抱えている問題の解決や諸願の成就を、仏教に求めることもある。「寺院の電気代金を寄付すると学業成就の御利益がある」といった、人々の間で発生した験担ぎもそのひとつだ。富くじの当選を願ったり、試験のヤマが当たることを期待するのは、いかにも世俗的な欲望、執着であり、仏教があずかり得ない領域に見えるが、寺院で「スィアムスィ」を引いてその救いとする人もいるのである。

己の解脱のみを目指し一切の労働をしない僧侶の衣食住は、人々からの布施と奉仕によって支えられている。原理的には、それらのタンブンはより良い来世につながる功德として積み上げられるものであり、現世における見返りは約束されていない。だが、それぞれの寺院は維持、管理、改修の費用を得るために、参拝者とお賽銭を集める必要があり、世俗的欲求に応える“行事”や“仕掛け”が有効なことも事実だ。上座仏教においては、僧侶が行うべきは己のための修行のみとされ、他者のために何かを行うことはそもそも想定されない。そのため参拝者のための“行事”や“仕掛け”には、原始仏教以外に由来する要素が取り入れられてきた。特に、同じインド起源である占星術や、仏教とも習合している華人文化は上座仏教との相性もいい。願い事がかなう、占いが当たる、という評価のある寺院は、数ある他の寺院との差別化され、人もお金も集まることになる。



吉祥の神を祀る「サーン・ブラ・ブーム」(左)と土地の精霊を祀った「サーン・チャオ・ティー」(右)。加護や請願成就を求め、供物がそなえられる。



ワット・チャイモンコン/チェンマイ 魚や亀を川へ放流したり、餌をやるタンブンで知られる寺院であるが、境内には観音菩薩の廟もある。

### 3. 国事、宮廷にかかわる占い

占星術師が活躍する場は寺院だけではない。もともと占星術は、専制君主制の時代に遷都や都市計画、他国との戦争の時期や戦略等、政治や外交の指針と活用されながら発展し、後に王族だけでなく、上中流階級の人々、やがて広く一般の国民の間に広まっていったものだと考えられている。現在でも、暦や出生届の項目等にも占星学的要素を見ることができ、占いは宮廷や国事にもかかわっていると見える。

たとえば、現在使われているグレゴリオ暦では、タイ語による曜日の名称、すなわち惑星はインド神話の神々の名に由来するほか、十二の月の名称は、パーリ語またはサンスクリット語の星座の名前と一致し、占星術にもちいられる用語とも共通する。



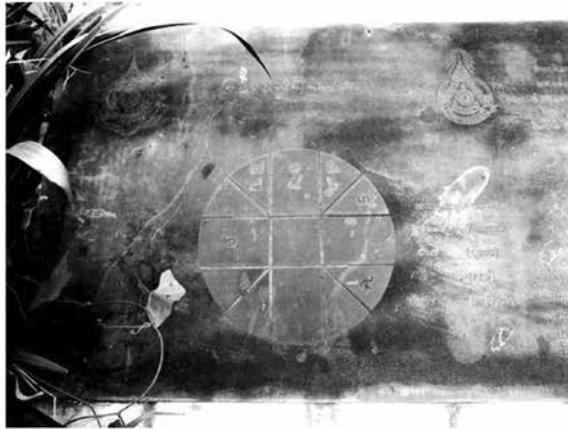
ワット・マーク リアク/チェンライ 「(ルアンポー) ブラ・チャーオ・タンチャイ」  
と呼ばれる仏像。宝石などの呪物が埋め込まれ、僧侶の読経と占星術師の特別な儀礼が夜通し行われるなかで作られる。



ワット・マーク リアク/チェンライ 一昼夜で完成することができたとき、その「奇跡」により、願い事を即時に叶える（タンチャイ）霊力を持つとされる。主に北タイの寺院境内にて本堂とは別の場所に安置されていることが多い。寺院境内にはほかにも様々なかたちで占いやまじないの要素が取り入れられる。



ワット・サマーン・ラッタナーラーム/チャチョンサオ 「テープ・タンチャイ」と呼ばれる像(左)。ミャンマーのシュエダゴン・パゴダに祀られる土地神「ボーボージー」を模したのも。元になった「ボーボージー」像はパゴダを立てるべき場所を指し示したという故事に基づく姿勢をとっているが、なぜかタイ独自の信仰では、この人差し指に自身の額を当てて願うと、その願いは成就するといわれている。これに倣ったスタイルの「プラ・チャーオ・タンチャイ」も存在する(中央、右)。



ワット・チェンマン/チェンマイ 1296年に建造されたといわれるチェンマン寺には、チェンマイが創都された年月日とそれに基づく占星術の表（ホーラーサート）が描かれた石碑がある。一説には、タイ式占星術は、バビロニアの五芒星、中国の風水と起源を同じくしているともいわれる。

また、王室には専属のバラモン司祭、占星術師がおり、宮廷行事が行われる日取りは占星術によって決定される習わしがある。2019年5月に行われた現国王の戴冠式でも、儀礼を取り仕切ったのは王室付きのバラモン司祭であり、分刻みの工程は占星術的知見に基づいて組まれたものだといわれている。そのほかにも、毎年日取りがかわる「春耕節」もしくは「農耕祭」と訳される「ワン・プット・モンコン」という祭日があるが、タイ王国宮内庁官報で公告されるこの日程も、占星術によって決定されている。「ワン・プット・モンコン」には、王室による五穀豊穡を予祝する始耕儀式が行われ、それ自体が大規模なト占的儀礼だ。

憲法において国王は「仏教徒であり且つ宗教の保護者」（第10条）と定められているが、同時にタイにはクメール文化からの影響である「神王思想 (devaraja)」が存在しており、国王をヒンドゥ教の神々であるシヴァ神もしくはヴィシュヌ神の化身として神聖化している。王室の神聖性を強化、維持するための儀礼にも非仏教的要素が使われ、占いも関係しているのだ。

#### 4. 占いの多様性と現在

タイ社会では、占星術のほか、手相、人相、タロットやトランプといったカードを使うもの、数秘術など、種々の幅広い占いが行われている。デパートやホテルの一角に占師専用のスペースが設けられていたり、露天商の中に占師の姿があることも一般的だ。

日常生活の一部として占いを利用する者もいる。人生の節目や問題に直面した際、先への不安の軽減や、その突破口を求め、占師を訪ねることはなんら珍しいことではない。

種類にもよるが、多くの占いの技術や知識は、天性の靈感を与えられた者だけが得るもの、もしくは出自によって受け継がれるものというよりは、学び、訓練を受けることによって身につけられるものと考えられている。特に占星術は複雑な計算や解釈が必要になるた



ワット・プラケオ/バンコク 壁画に描かれる『ラーマキエン』の物語。伝説の英雄「ラーマ」はヴィシュヌ神の姿のひとつ。「ラーマ〇世」と称されるように、タイ国王はその権現とされる。

め、体得するためには体系的に学ぶ必要があり、教科のひとつとして教える高等専門学校や、職業訓練施設もある。コンピューターによる計算プログラムも数多く開発されており、独学で学ぶ場合や、趣味や副業として嗜まれる場合もあり、占師の背景は多様化している。

近年では電話や SNS を使う占師も増えた。キャッシュレス化が進み、電話番号と紐付けた送金サービスが普及したことが大きく関係しているが、今年に入ってからその傾向はさらに加速した。防疫措置の観点からも非対面型の方法が好まれている。

新型コロナウイルスに対する恐怖を誰もが感じているなかで、国民生活に厳しい制限がかけられたことにより、失業率、貧困層の拡大も指摘され、不安やストレスなど、精神的な問題を抱える者も増えている。タイでは鬱や不安障害といったメンタルヘルスへの認知が低く、心療内科、精神科に行くということは一般的にはなっていないといわれる。それゆえ、人々の悩み事、相談事は僧侶や占師が請け負い、カウンセラーの役割も担ってきた。外出の制限や自粛の要請がかかるなかでは、寺院では人を集める儀礼が行われることはなく、安易に参拝の機会を増やすこともできない。そのような状況の中で、恐怖や不安解消の拠り所として残されたのが占いだ。

占いに対する需要の高まりに応えようとする動きもある。著名な占星術師のひとりラク (Lak Rekhaniheth) 氏は非常事態宣言発令後の 3 月 25 日に、「COVID-19 がもたらす不安を和らげ共に戦う占星術」というプロジェクトを立ち上げている。Facebook 上での動画配信のほか、自身が運営する占星術教室の研修生 60 人を動員し、LINE で個別の相談にも応じるといったものだ。類似の取り組みは、他の占師の団体や個人の占師にも行われている。



バンコク 住宅地でも占師は営業している（非常事態宣言前）

## 5. 占いと民主活動

個人の相談事だけでなく、社会情勢や政治動向も占われる対象だ。世間で注目を集める事象が起こった時には、新聞やテレビ番組に有名占師のコメントが紹介されるほか、インターネット上でも自身の予想を披露する占師の投稿や配信が増える。2020年3月以降はCOVID-19にまつわる状況が、7月以降は学生による民主化運動の行く末が、盛んに占われている。

政治と占いが結び付けられた報道も、古くから一般的だ。政治家やその妻がどんな占師や呪術師の助言を得ているのかという話題は、タイの政界に関するひとつのトピックになってきた。そして、軍事クーデターや民衆の反政府活動にも占いは関与する。西暦2006年9月に生じたクーデターは、吉兆の数字とされる「9」にこだわったために「仏暦2549年9月19日」という日に決行されたのだともいわれる。またタイのデモ隊が、赤、黄などイメージカラーを定めて団結をはかってきたことはよく知られるが、これらも曜日によって定められる吉凶の色「シー・プラチャム・ワン」に由来する。

2020年7月以降活発さを増しているタイ政府抗議活動では、各国のマスメディアから注目を集めることを意図し、色ではなくアニメや映画からシンボルが使われた。しかし、活動の中心となっている学生たちも、占いなどの呪術に無関心なわけではない。8月16日に実施された大規模集会の際には、SNS上で「#ムーテールー・プア・セリパーブ」すなわち「#自由のためのまじない」というタグで、世界の神仏や護符、呪物の画像を集める活動が発生した。集会に参加しない（できない）者も、集会への支持を表明し、集会参加者たちの安全を祈る行為としてこのタグに参加している。

活動はいまやバンコクにとどまらず、全国に広がっている。8月20日夜にはコーンケン県の民主記念碑前でも抗議集会が開かれ、呪術ショーが行われた。用意された祭壇は、占星術師がインド神話の神々を祀る儀礼に用いるものともよく似ていたが、祭壇に置かれたのは神像ではなくプラウィット氏を模した像である。供物には、パッケージに描かれた絵が同氏に似ていると揶揄される調味料や、創始者の孫が薬物使用やひき逃げの疑いがあ

りながら起訴が見送られたことで国民の不満を集めたエナジードリンク、また刑法第112条の不敬罪を象徴する112本の線香が使われるなど、皮肉が込められた。余興として、集まった大衆を盛り上げると同時に、話題性がありマスメディアでも取り上げられた。

タイにおける古いやまじないは、人々の心を引きつけてやまない。世相を如実に反映し、柔軟に利用されてきた占いは、常に人々の願いに寄り添い続ける。



Youtube < <https://youtu.be/tJ1VZm3uEal> >より コーンケーンで行われた儀礼を執り行ったのは、塾講師をしている活動家。

(主要参考文献)

赤木 攻 (2007/12/20) “不可解な選挙慣行「占い」、「酒」、「世論調査」” NNA.ASIA < [http://nna.jp/free/column/070705\\_bkk/07/1220a.html](http://nna.jp/free/column/070705_bkk/07/1220a.html) >

—— (2009/3/12) “呪術頼み? -タイ政治社会の潮流-” NNA.ASIA < [http://nna.jp/free/column/070705\\_bkk/09/0312a.html](http://nna.jp/free/column/070705_bkk/09/0312a.html) >

石井米雄 1975『上座部仏教の政治社会学』創文社。

——1991『タイ仏教入門』めこん。

——1993「バラモン教」石井米雄 (監修)『タイの事典』同朋舎。

——2000「インド文化の東南アジアの受容」『東方学 第百号』pp.188-196。

片岡樹 2014「中国廟からみたタイ仏教論-南タイ、ブーケットの事例を中心に-」『アジア・アフリカ地域研究 14 (1)』、pp.1-42

下川正晴「チャワリット首相は日食がこわい? -タイ政権を揺るがす占星術の威力」クーパー、ロバート、クーパー、ナンサパ、『カルチャーショック タイ人』河出書房新社、p117

Cook, Nerida M. 1992. “A Tale of Two City Pillars: Thai Astrology on the Eve of Modernization” in Gehan Wijeyewardene & E.C.Chapman eds. *Patterns and Illusions: Thai History and Thought*. Singapore: the Richard Davis Fund & Department of Anthropology, Research School of Pacific Studies, ANU.

—— 1993(1991). “Thai Identity in the Astrological Tradition” in Craig J. Reynolds ed. *National Identity and its Defenders*. Chian Mai: Silkworm Books.

Pasuk Phongpaichit and Chris Baker 2008. “The spirits, the stars, and Thai politics.” Siam

Society, 2 December 2008. <<http://pioneer.netserv.chula.ac.th/~ppasuk/spiritsstarspolitics.pdf>>.  
Tambiah, Stanley 1970. *Buddhism and the Spirit Cults in North-East Thailand*. London: Cambridge University Press.

Wales, H.G. Quaritch 1965. *Ancient Siamese government and administration*. New York: Paragon Book Reprint corp.

BBC NEWS THAI ไวรัสโคโรนา : "หมอลักษณ์พันธ์ง" ชี้ "วิฤตซ้อนวิฤต" ในโควิด-19 กัการอาสาเป็น "ที่พึ่งทางใจ" ของคนไทย1 เมษายน 2020<[https://www.bbc.com/thai/thailand-52115554?SThisFB&fbclid=IwAR3azTqqHejpNuh0XVF5143px1S\\_1EPE1j-f5ER0INeVrCNBrjxR3vbVky8](https://www.bbc.com/thai/thailand-52115554?SThisFB&fbclid=IwAR3azTqqHejpNuh0XVF5143px1S_1EPE1j-f5ER0INeVrCNBrjxR3vbVky8)>

โหรพันธ์ง ลักษณ์ เรขานิเทศ ( 占星術師 Lak 氏の Facebook ページ ) < <https://www.facebook.com/lucklive/posts/2989291174447531> >

チャンネル 8 Facebook ページ ขอนแก่นพอกันที! ท่องมนต์แผ่เมตตา ชู 3 นิ้ว เล่นคลื่นมนุษย์  
ขับไล่รัฐบาล<<https://www.facebook.com/thaich8news/videos/305816257164323/>>